

# つるがしまの図書館

令和4年度



ろん  
龍ちゃん



ろんちゃんとろんこちゃん (スタッフお手製)

# 目 次

1	図書館基本コンセプト	1
2	職員	
	(1) 令和3年度職員数	2
	(2) 職員体制と所掌事務	3
3	資料数	4
4	予算	5
5	施設の概要	
	(1) 図書館施設一覧	6
	(2) 中央図書館概要	6
	(3) 中央図書館工事概要	7
6	図書館利用状況	
	(1) 令和3年度利用状況	8
	(2) 施設別・月別利用状況	9
	(3) 市町別広域利用の状況	10
7	学級講座等事業の概要	
	(1) 令和3年度事業実績	11
	(2) 令和4年度事業計画	15
8	図書館協議会	
	(1) 条例	16
	(2) 規則	16
	(3) 図書館協議会委員名簿	17
	(4) 図書館協議会の動き	17
9	図書館の歩み	19

ろん  
龍ちゃんとは

中央図書館の開館に先駆け、市民がより身近に感じられ、気軽に利用できるよう一般公募し、決定した図書館のマスコットキャラクターです。

## 1 図書館基本コンセプト

### 「生涯にわたる学習と地域の活性化を支援する図書館」

—多様化するニーズに応じて、地域の情報拠点となる図書館—

#### 基本目標 1 市民の生涯学習を支える図書館

図書館法では、図書館を、「図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設」と定めています。市民に有益な情報を、収集、整理、保存し、提供することは、図書館の基本的かつ重要なサービスです。

#### 基本目標 2 子どもの成長を支える図書館

幼少期から本に親しむことは、豊かな心や想像力を育てることにつながります。市立図書館、児童館、小学校などでおはなし会や読み聞かせを行い、本に親しむ機会を積極的に提供し、読書を通じた子育てを支援します。

#### 基本目標 3 市民の暮らしを支える図書館

市民サービスを充実させるには、市立図書館をよく利用する市民だけではなく、幅広い市民層を対象にする必要があります。

#### 基本目標 4 情報発信する図書館

スマートフォンやタブレット端末の普及、動画配信サービスやソーシャルメディアの急速な発達により、流通する情報が多様化し、その量も飛躍的に増大しました。

市立図書館は市民の情報ニーズを分析し、こうした情報を入手する支援をする必要があります。

#### 基本目標 5 郷土意識を深める図書館

行政資料や地域資料は、散逸してしまう可能性が高いものであり、市立図書館が様々な手法により、積極的・継続的に収集します。

#### 基本目標 6 市民の交流・くつろぎ空間のある図書館

市立図書館を市民交流とくつろぎの場とするとともに、市内の企業や団体との連携を深め、地域コミュニティの活性化を図ります。

## 2 職員（令和4年4月1日現在）

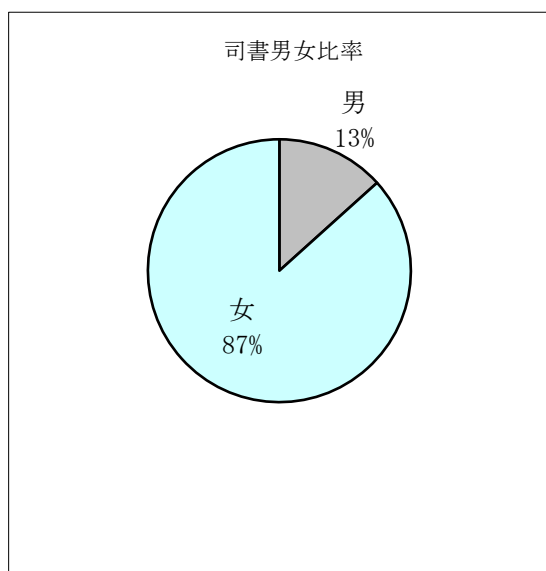
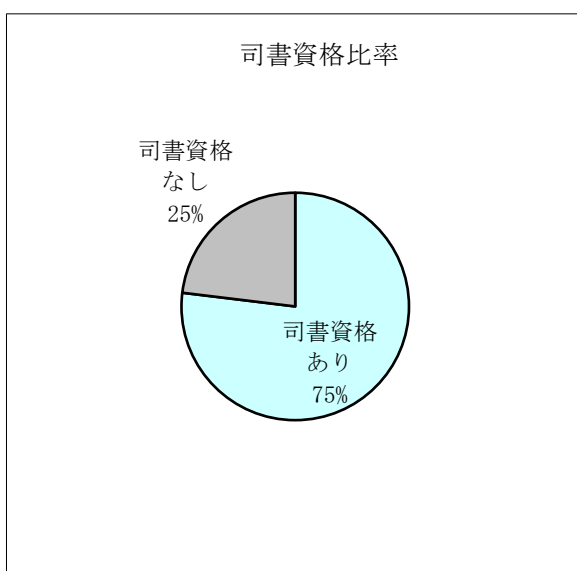
(1) 令和3年度職員数 ( ) 内は司書資格等を有するもの

	図書館スタッフ		
	男	女	計
全館合計	4 (4)	35 (26)	39 (30)

各分室は、開館日に中央図書館から職員を派遣

司書資格あり	30
司書資格なし	9
合計	39

男	4
女	26
合計	30



## (2) 職員体制と所掌事務

### ① 職員体制（全39人）

図書館長 — 副館長 — スタッフ37人

### ② 所掌事務

#### 《庶務》

- ア 職員（一般職非常勤職員を含む）の人事、研修等の事務に関する事
- イ 文書の収受、管理に関する事
- ウ 中央図書館の施設、設備、物品等の維持管理に関する事
- エ 図書館協議会に関する事
- オ 図書館の予算の執行管理に関する事

#### 《資料奉仕》

- ア 資料の管理（発注、受入及び廃棄）に関する事（中央図書館及び図書館全体）
- イ 図書館全体の情報管理、コンピュータ、統計に関する事
- ウ 中央図書館の書架（一般書・AV）管理に関する事
- エ 図書館利用者の奉仕に関する事
  - ・リクエスト資料に関する事
  - ・広域利用の推進に関する事
  - ・障害者サービスの推進に関する事
  - ・AVに関する事
- オ 資料のリサイクルに関する事
- カ 中央図書館のカウンター業務に関する事
- キ 図書館の講座、行事に関する事

#### 《児童・学校》

- ア 資料の管理（発注、受入及び廃棄）に関する事（児童書）
- イ 中央図書館の書架（児童書）管理に関する事
- ウ 図書館利用者の奉仕に関する事
  - ・学校図書館との連携に関する事
- エ 中央図書館のカウンター業務（児童カウンター）に関する事
- オ 図書館（児童）の講座、行事に関する事

#### 《レファレンス》

- ア 資料の管理（発注、受入及び廃棄）に関する事
- イ 中央図書館の書架管理に関する事
- ウ 図書館利用者の奉仕に関する事
  - ・参考調査室に関する事
  - ・郷土資料に関する事
- エ 中央図書館のカウンター業務に関する事

#### 《分室》

- ア 分室の資料管理に関する事
- イ 分室の利用者の奉仕に関する事
- ウ 分室の施設、設備、物品等の維持管理に関する事
- エ 分室のカウンター業務に関する事
- オ 図書館の講座、行事に関する事

### 3 資料数

#### (1) 施設別資料数

(図書・紙芝居・AV資料等)

(令和4年4月1日現在)

種 別	中央図書館	分 室							計	
		東	西	南	北	富士見	大橋	計		
図 書	一般書 (冊)	219,895	7,373	11,112	11,221	6,020	16,931	14,627	67,284	287,179
	児童書 (冊)	77,099	8,718	14,032	9,668	6,730	10,267	12,303	61,718	138,817
参考資料 (郷土資料含む)(冊) (うち地図1,676枚)		39,830	187	375	211	192	223	218	1,406	41,236 (うち地図1,676枚)
AV資料 (点)		21,895	0	0	0	0	0	0	0	21,895
紙芝居 (冊)		2,776	273	484	481	235	392	508	2,373	5,149
計		361,495 (うち地図1,676枚)	16,551	26,003	21,581	13,177	27,813	27,656	132,781	494,276 (うち地図1,676枚)

上記合計にはマイクロフィルムを含まず

(新聞・雑誌)

種 別	中央図書館	分 室							計
		東	西	南	北	富士見	大橋	計	
新 聞 (紙)	46	1	1	1	1	1	1	6	52
雑 誌 (タイトル)	202	6	6	7	5	6	6	36	238

※雑誌は、寄贈含む件数 駅前カウンター所蔵の1タイトルは中央図書館に計上

#### (2) 分類別資料数

(図書資料・紙芝居)

(単位：冊)

分 類	一般書	児童書	計
0 総 記	6,125	910	7,035
1 哲学・宗教	10,115	911	11,026
2 歴史・地理	24,628	7,013	31,641
3 社会科学	39,283	7,730	47,013
4 自然科学	17,916	13,710	31,626
5 工業技術	23,898	4,785	28,683
6 産 業	9,112	2,953	12,065
7 芸術・体育	37,421	6,302	43,723
8 語 学	4,664	1,932	6,596
9 文 学	114,019	42,192	156,211
紙芝居		5,149	5,149
地域・行政資料 (マイクロフィルムを含む)	25,907		25,907
絵本		49,873	49,873
参考資料	15,317		15,317
実物資料		516	516
計	328,405	143,976	472,381

(AV資料)

(単位：点)

種 別	点 数
CD	20,251
カセットテープ	872
ビデオテープ	11
レーザーディスク	0
DVD	761
合 計	21,895

#### 4 予算

○令和4年度図書館費  
うち資料費

89,376,000円(前年比124.75%)  
20,000,000円(前年比130.89%)

(単位 円)

資料費内訳	令和3年度(②)	令和4年度(①)	対比②-①
資料購入費	20,000,000	20,000,000	0.00%
★図書資料費	15,727,000	13,953,000	▲11.28%
★視聴覚資料費	1,000,000	1,000,000	0.00%
内訳			
CD	300,000	300,000	0.00%
DVD	700,000	700,000	0.00%
★新聞資料費	1,015,000	1,015,000	0.00%
★雑誌資料費	2,258,000	2,532,000	12.13%
★電子資料費	1,000,000	1,500,000	50.00%

\* 白書、紙芝居、電子書籍は図書資料費から購入

\* 日経テレコン、ジャパンナレッジ、ナクソスミュージックライブラリー、D1-Law等データベース代は、資料費に含めていない

\* 図書等装備業務委託料、装備用消耗品代は、資料費に含めていない

## 5 施設の概要

### (1) 図書館施設一覧

名称	所在地・電話番号	開設年月	延面積 (㎡)
中央図書館	鶴ヶ島市大字高倉 1247 番地 1 271-3001	平成 8 年 10 月	4254.7
図書館東分室	鶴ヶ島市大字五味ヶ谷 202 番地 271-4655	昭和 62 年 4 月	90.75
図書館西分室	鶴ヶ島市新町四丁目 17 番地 8 271-0880	平成 8 年 9 月	227.3
図書館南分室	鶴ヶ島市大字鶴ヶ丘 375 番地 1 287-6044	昭和 60 年 4 月	149.0
図書館北分室	鶴ヶ島市大字脚折 2171 番地 1 285-5780	昭和 61 年 6 月	54.0
図書館富士見分室	鶴ヶ島市富士見五丁目 11 番 1 号 287-1662	昭和 62 年 6 月	159.8
図書館大橋分室	鶴ヶ島市大字太田ヶ谷 883 番地 286-0006	平成 3 年 7 月	199.3

### (2) 中央図書館概要

(全館延床面積 4,254.70㎡)

室名	面積 (単位㎡)	
	部屋別延床面積	階別延床面積
◆ 1 F	来館者部門 玄関 286.75 一般開架貸出室 1,035.55 和室 23.57 読書室 124.94 参考資料室 214.00 グループ室 22.73 児童開架貸出室 328.14 保育室 31.71 お話コーナー 16.81 対面朗読室 17.27 事務部門 管理運営スペース 455.19 配送部門 配送書庫 102.88 車庫 74.94 保存部門 AV資料保存庫 36.58 その他 廊下等 325.43	3,096.49
◆ 2 F	来館者部門 展示室 235.58 視聴覚室 180.06 ロビー 84.54 その他 33.70 保存部門 郷土資料保管庫 33.60 保存書庫 299.70 美術品保管庫 8.48 その他 倉庫等 254.20	1,129.86
◆ 塔屋	その他 階段室 28.35	28.35



### (3) 中央図書館工事概要

- ◆ 名 称／鶴ヶ島市立中央図書館 TEL 049 (271)3001 FAX 049 (271)0121
- ◆ 所 在 地／鶴ヶ島市大字高倉 1247 番地 1
- ◆ 敷 地 面 積／11,150.19㎡ (敷地外駐車場部分を除く)
- ◆ 建 築 面 積／3,430.93㎡
- ◆ 延 床 面 積／4,254.7㎡
- ◆ 構 造／RC コンクリート造地上2階建て
- ◆ 工 期／平成6年9月5日～平成8年10月30日
- ◆ 設計、監理／土屋 巖 建築設計事務所
- ◆ 施 工 業 者／

建築	古久根・初雁建設工事共同企業体
機械設備	(株)朝日工業社 北関東支店
電気設備	(株)和泉電設
家具・サイン	日本ファイリング(株)大宮営業所
内部装飾	(株)環境美術
AV機器	松下電器産業(株)
ブラインド	東洋舞台(株)
あづまや・防火貯水槽・駐車場整備等	(株)森吉工務店
自転車置場・プラントボックス整備等	初雁興業(株)
外構電気設備	(株)林電気産業
植栽その1	藤関造園
植栽その2	栄光造園
植栽その3	(有)仲丸造園
植栽その4	(株)グリーンロード
駐車場・エントランス前広場整備等	初雁興業(株)
駐車場整備等	初雁興業(株)
造園	並木造園(株)
案内標識	秩父産業(株)
職員駐車場	(有)宮本土木

#### ◆ 総工費／(図書館関係経費を含む)

用地取得	1,035,421 千円
設計関係経費	114,655 千円
建築工事	1,180,133 千円
電気設備工事	130,749 千円
機械設備工事	345,050 千円
外構・案内標識・排水・進入路工事等	379,417 千円
備品購入経費	106,626 千円
電算化事業費	54,645 千円
図書資料購入費	439,602 千円

**合 計 3,786,298 千円**

#### ◆ 財源内訳／

国庫支出金	93,600 千円
県費補助金	100,000 千円
地方債	1,502,800 千円
中央図書館建設基金	1,757,274 千円
一般財源	332,624 千円

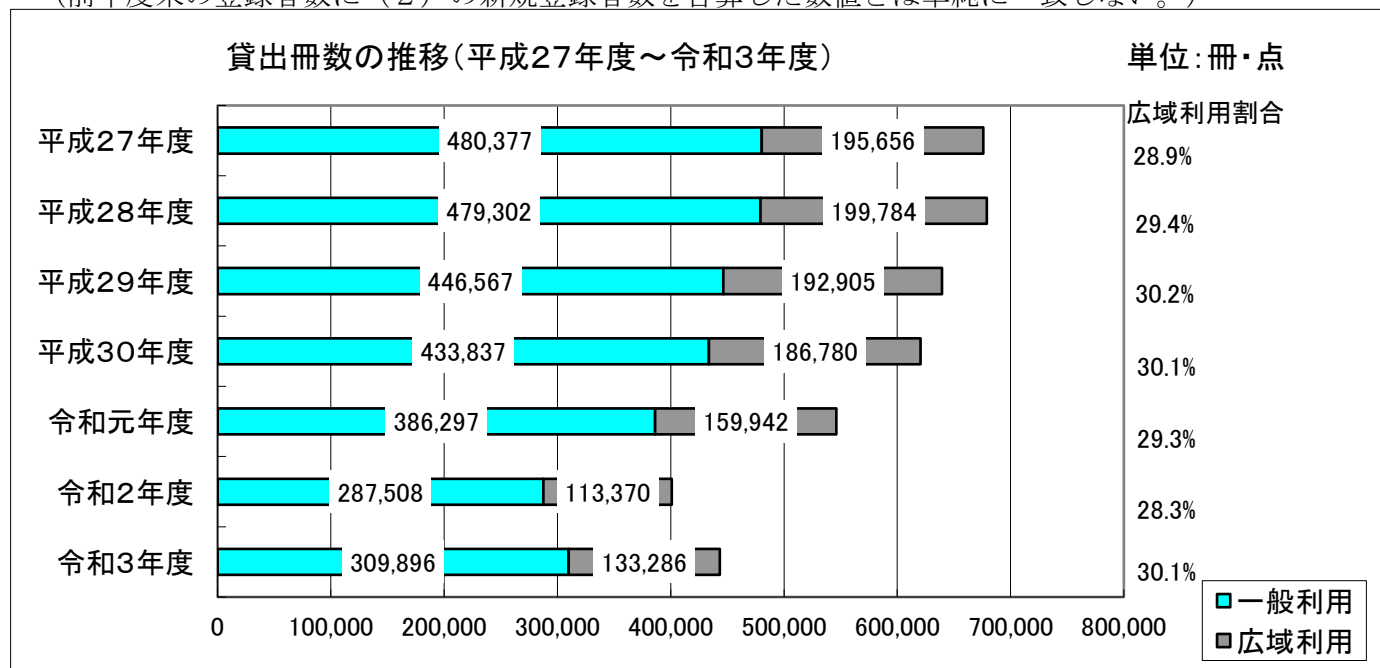
**合 計 3,786,298 千円**

## 6 図書館利用状況

### (1) 令和3年度利用状況（令和2年度対比）

		開館日数 (日)	利用人数 (人)	利用冊数 (冊・点)			登録者数 (累計：人)			
				一般・団体	広域利用	一般・団体	広域利用			
中央図書館	3年度	288	73,056	278,321	182,788	95,533	81,700	44,496	37,204	
	2年度	262	48,943	243,685	161,722	81,963	80,815	43,864	36,951	
分室	東	3年度	181	6,198	20,434	13,345	7,089	3,504	2,674	830
		2年度	169	5,011	18,231	13,138	5,093	3,451	2,643	808
	西	3年度	180	5,274	17,078	15,189	1,889	4,023	3,316	707
		2年度	240	4,542	16,625	14,521	2,104	3,956	3,250	706
	南	3年度	182	6,948	23,639	20,962	2,677	5,300	4,608	692
		2年度	169	6,478	23,430	20,877	2,553	5,251	4,565	686
	北	3年度	182	4,678	15,789	13,551	2,238	2,886	2,531	355
		2年度	167	4,079	15,026	13,438	1,588	2,886	2,532	354
	富士見	3年度	183	6,378	21,342	15,991	5,351	6,913	5,781	1,132
		2年度	168	5,970	21,758	16,622	5,136	6,864	5,732	1,132
	大橋	3年度	183	7,048	22,858	16,922	5,936	6,654	4,748	1,906
		2年度	168	5,981	21,192	15,992	5,200	6,616	4,702	1,914
計	3年度	1,091	36,524	121,140	95,960	25,180	29,280	23,658	5,622	
	2年度	1,081	32,061	116,262	94,588	21,674	29,024	23,424	5,600	
若葉駅前 カウンター	3年度	329	18,589	43,721	31,148	12,573	731	558	173	
	2年度	301	16,057	40,931	31,198	9,733	594	451	143	
計	3年度	1,708	128,169	443,182	309,896	133,286	111,711	68,712	42,999	
	2年度	1,644	97,061	400,878	287,508	113,370	109,839	67,288	42,551	

\*登録者数は、資格喪失者を除く等の調整後の実数  
(前年度末の登録者数に(2)の新規登録者数を合算した数値とは単純に一致しない。)



(2) 施設別・月別利用状況（令和3年度）

（単位：日・人・冊（点））

月	中央図書館			東分室			西分室			南分室			北分室		
	日数	利用人数	利用冊数	日数	利用人数	利用冊数	日数	利用人数	利用冊数	日数	利用人数	利用冊数	日数	利用人数	利用冊数
4	26	7,633	31,781	17	613	2,110	17	458	1,915	17	756	2,684	17	447	1,453
5	26	7,255	27,178	18	554	1,886	18	535	1,644	18	695	2,498	18	457	1,514
6	26	6,998	26,062	17	589	2,027	17	476	1,565	17	680	2,435	16	406	1,354
7	16	4,736	17,510	10	353	1,282	11	356	1,180	11	402	1,340	11	294	976
8	19	2,962	9,943	9	304	861	9	239	688	9	212	584	10	252	823
9	27	3,683	11,967	13	420	1,097	12	321	941	13	419	1,247	12	292	989
10	22	5,788	23,104	16	570	1,968	15	448	1,421	16	606	2,051	16	379	1,357
11	25	6,387	24,844	16	532	1,754	16	451	1,426	16	599	1,943	17	427	1,430
12	24	6,471	24,828	16	549	1,822	16	466	1,476	16	571	2,006	16	394	1,368
1	25	6,841	26,915	16	539	1,837	15	443	1,484	16	615	2,187	16	415	1,444
2	24	7,086	26,779	16	593	1,910	16	527	1,684	16	666	2,274	16	473	1,610
3	28	7,216	27,410	17	582	1,880	18	554	1,654	17	727	2,390	17	442	1,471
計	288	73,056	278,321	181	6,198	20,434	180	5,274	17,078	182	6,948	23,639	182	4,678	15,789
新規登録	一般	694	計 952	一般	34	計 54	一般	40	計 68	一般	44	計 66	一般	7	計 13
	児童	258		児童	20		児童	28		児童	22		児童	6	

月	富士見分室			大橋分室			若葉駅前カウンター			計		
	日数	利用人数	利用冊数	日数	利用人数	利用冊数	日数	利用人数	利用冊数	延日数	利用人数	利用冊数
4	17	671	2,422	17	715	2,865	30	1,687	3,931	158	12,980	49,161
5	18	624	2,197	18	692	2,242	31	1,586	3,691	165	12,398	42,850
6	17	569	1,830	17	641	2,051	30	1,612	3,899	157	11,971	41,223
7	11	390	1,363	11	431	1,445	18	1,027	2,268	99	7,989	27,364
8	10	232	600	10	332	905	22	1,052	2,770	98	5,585	17,174
9	12	281	711	12	378	1,107	30	1,646	3,799	131	7,440	21,858
10	15	543	1,865	15	619	2,091	25	1,403	3,311	140	10,356	37,168
11	17	607	2,054	17	661	2,031	30	1,691	3,980	154	11,355	39,462
12	16	556	1,940	16	621	1,945	28	1,614	3,802	148	11,242	39,187
1	16	598	2,087	16	628	2,014	26	1,611	3,776	146	11,690	41,744
2	16	622	2,063	16	627	2,009	28	1,762	4,098	148	12,356	42,427
3	18	685	2,210	18	703	2,153	31	1,898	4,396	164	12,807	43,564
計	183	6,378	21,342	183	7,048	22,858	329	18,589	43,721	1,708	128,169	443,182
新規登録	一般	23	計 69	一般	33	計 52	一般	66	計 128	一般	941	計 1,402
	児童	46		児童	19		児童	62		児童	461	

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開館日数が例年よりも大幅に減少した

### (3) 市町別広域利用の状況 (令和3年度)

#### ①登録者数

(単位：人)

図書館名	鶴ヶ島市民	川越市民	坂戸市民	日高市民	川島町民	毛呂山町民	越生町民	計
鶴ヶ島市立図書館		161	146	60	2	21	0	390
川越市立図書館	183		68	40	30	4	1	326
坂戸市立図書館	201	48		10	6	23	7	295
日高市立図書館	25	22	19		0	24	4	94
川島町立図書館	2	34	3	0		0	0	39
毛呂山町立図書館	13	14	27	21	1		16	92
越生町立図書館	2	5	2	4	1	17		31
計	426	284	265	135	40	89	28	1,267

#### ②利用者数

(単位：人)

図書館名	鶴ヶ島市民	川越市民	坂戸市民	日高市民	川島町民	毛呂山町民	越生町民	計
鶴ヶ島市立図書館		14,659	16,314	4,501	191	446	212	36,323
川越市立図書館	9,485		2,747	1,192	787	272	21	14,504
坂戸市立図書館	6,003	1,871		229	145	393	60	8,701
日高市立図書館	643	835	1,331		3	332	72	3,216
川島町立図書館	31	588	89	0		1	0	709
毛呂山町立図書館	852	649	3,157	1,498	33		2,456	8,645
越生町立図書館	112	36	166	111	5	451		881
計	17,126	18,638	23,804	7,531	1,164	1,895	2,821	72,979

#### ③利用冊数

(単位：冊)

図書館名	鶴ヶ島市民	川越市民	坂戸市民	日高市民	川島町民	毛呂山町民	越生町民	計
鶴ヶ島市立図書館		57,630	56,397	15,765	853	1,737	707	133,089
川越市立図書館	25,667		6,882	3,319	1,763	1,008	33	38,672
坂戸市立図書館	17,150	6,187		767	516	1,251	238	26,109
日高市立図書館	2,033	3,760	4,052		10	1,495	272	11,622
川島町立図書館	158	3,970	369	0		9	0	4,506
毛呂山町立図書館	3,675	2,726	15,723	8,364	107		10,137	40,732
越生町立図書館	496	152	465	766	13	2,449		4,341
計	49,179	74,425	83,888	28,981	3,262	7,949	11,387	259,071

\*埼玉県川越都市圏まちづくり協議会（鶴ヶ島市、川越市、坂戸市、川島町、毛呂山町、越生町）

による図書館広域（相互）利用は、平成9年7月1日から開始されました。

令和元年度に当協議会を脱退した日高市とは、公共施設の相互利用を継続するための協定を締結しているため現在も相互の図書館利用が可能です。

## 7 学級講座等事業の概要

### (1) 令和3年度事業実績

事業名	会場	概要
第5回 鶴ヶ島市立図書館を使った調べる学習コンクール	中央図書館 (表彰式)	調べる学習コンクールへの参加支援及び地域コンクール、表彰式を開催。 全体期間 令和3年5月26日(水)～11月7日(日) 表彰式 令和3年11月7日(日) 応募数 78作品
つながるアート展 (旧：障がい者アート絵画展)	中央図書館	障害を持つ方のアート作品を館内展示し、障害に対する理解を深める機会とする。 期間：令和3年12月8日(水)～19日(日) 関連イベント ・令和3年12月12日(日) バリアフリー映画会「東野圭吾ドラマシリーズ”笑”」 参加者 25人 ・令和3年12月18日(土) マルチメディアダイジー体験会 参加者 10人 ・令和3年12月18日(土) 講座「うちの子、もしかして…読み書きが苦手でも読書を楽しむ方法」 参加者 対面 20人 配信 37人
CDコンサート	中央図書館	図書館所蔵のCDの中から毎回テーマを決め、音楽を楽しむ。 ・令和3年5月16日(日) 「ピアノを楽しむコンサート」 参加者 15人 ・令和4年2月27日(日) 「バイオリンを楽しむ」 参加者 19人
図書館座シネマ	中央図書館	一般向けの16mmフィルムの映画または、図書館所蔵のDVDを上映する。 ・令和3年6月26日(土) 「あゝ野麦峠」 参加者 19人 ・令和4年3月19日(土)「荒野に希望の灯をともし」 参加者 29人

子ども図書館座 シネマ	中央図書館	児童向けの16mmフィルムの映画または、図書館所蔵のDVD を上映する。 令和4年3月27日(日) 「アルプスの少女ハイジ」 参加者 15人
市制施行30周年記念 心で繋ぐ鶴ヶ島 ショートショートフ ィルムフェス	中央図書館	「心」「つなぐ」「鶴ヶ島」をテーマにショートフィルム を募集する。 全体期間 令和3年6月1日(火)～12月10日(金) 結果発表 令和3年11月30日(火) 表彰式 令和3年12月9日(木)・10日(金) 応募数 12作品
環境教育講座 「暮らしにみどりを 活かすアドバイス」	中央図書館	環境月間に合わせ、環境について理解を深める機会とす る。 令和3年6月19日(土) 講師：田村 真実氏(埼玉県花と緑の振興センター職員) 参加者 13人
シニアのためのお金 とかしこく付き合う コツ	中央図書館	令和4年2月12日(土) 講師：増田 比呂武氏(トータルライフコンサルタント) 参加者 対面 22人 配信 23人
つるがしま歴史散策 ～つるがしま文化財 マップ北コースを巡 る～	中央図書館	つるがしま文化財マップ北コースを、説を交えながら歩 く。 令和3年6月3日(木) 講師：鶴ヶ島市教育委員会 生涯学習スポーツ課 文化財担当職員 参加者 9人
郷土かるたクイズで 巡る ～脚折雨乞コ ース～	中央図書館	令和3年8月1日(日) 講師：鶴ヶ島市教育委員会 生涯学習スポーツ課 文化財担当職員 参加者 8人

本のリサイクル市	中央図書館	図書館まつりのリサイクル市を開催する。 令和4年2月4日(金) 2月5日(土) 参加者 889人 売上冊数 4343冊
大人が楽しむ春のりの会	中央図書館	語り手たちの会のお二人が語る一般向けの語り。 令和3年4月21日(水) 講師：清水三和子氏(NPO法人語り手たちの会理事) 井上雅美氏(NPO法人語り手たちの会会員 おはなしたんぼぼ代表) 参加者 25人
親子で楽しむ夕やけおはなし会	中央図書館	令和3年5月14日(金) 参加者 9人(保護者含む)
親子で挑戦プログラミング教室～ロボット「こくり」で楽しく学ぼう～	中央図書館	タブレット一体型ロボット「こくり」を使用したプログラミング教室を開催する。 令和3年6月6日(日) 参加人数 25人(保護者含む)
モクレンの会	中央図書館	学校の読み聞かせボランティア活動に参加している方を対象に、絵本の紹介や情報交換を行う。 令和3年5月13日(木) 参加者 12人
大橋児童館クラブ	中オ図書館	幼児向けに読み聞かせについての説明会とおはなし会を実施する。 令和3年11月11日(木) 参加者 11人(保護者含む)
クリスマスおはなし会	中央図書館	子ども向けのクリスマスをテーマにしたおはなし会。 ・令和3年12月16日(木) びよびよタイムクリスマスおはなし会 参加者 16人 ・令和3年12月19日(日) あかちゃん向けクリスマスおはなし会 参加者 37人 ・令和3年12月19日(日) 児童向けクリスマスおはなし会 参加者 33人

脚折児童館クリスマスおはなし会	中央図書館	クリスマス向け出張おはなし会。 令和3年12月22日(水) 参加者 40人
ブックスタート	脚折児童館	赤ちゃんとその保護者に向け、本の紹介とおはなし会を実施する。 脚折児童館ブックスタート 令和3年10月13日(水) 参加者 13組 12月10日(金) 参加者 19人
定例おはなし会	中央図書館 及び 6分室	おはなし会等を開催する。 中央図書館 あかちゃんのおはなし会 8回 参加者延べ 100人 おはなし会 27回 参加者延べ 307人 ぴよぴよタイム 6回 参加者延べ 19人 おはなしの小箱 8回 参加者延べ 62人 かみしばいの会 13回 参加者延べ 70人 わらべうたの会 4回 参加者延べ 38人  ※令和3年度の分室おはなし会は新型コロナウイルス感染拡大のため中止となりました。
託児サービス	中央図書館	第一金曜日を除いた金曜日に実施する。 参加者延べ 11人



(2) 令和4年度事業計画

事業名	期間	事業概要
第6回 鶴ヶ島市立図書館を使った 調べる学習コンクール	令和4年 6月1日(水)～ 令和5年 1月14日(土)	調べる学習コンクールへの参加支援及び 地域コンクール、表彰式の開催を行う。
第2回つながるアート展	12月	障がいをお持ちのアーティストによる作品を展示 し、障害に対する理解を深める。
電子図書館コンテンツの充実	年間	「鶴ヶ島市電子図書館」にコンテンツを追加し、 周知を図る。
一般向けイベントの開催	4半期毎	知識・趣味の幅を広げるイベントを行う。
郷土講座	年3回	郷土意識を深める講座や歴史散策等を行う。
デジタル郷土資料コンテンツ の拡充	12月	デジタル郷土資料プラットフォーム「ADEAC」に コンテンツを追加し、周知を図る。
図書館デジタルサービス利用 促進講習会	年4回	データベース、電子図書館の使い方を学ぶ講習会 を開催する。
つるがしまアトライブラリ ーの定期的な展示替え	4半期毎	芸術について親しみ、学ぶことができるコーナー にテーマを設け展示を設置する。
モクレンの会	年3回	読書サークルや読み聞かせサークル等の活動を 援助・育成するため、研修会や交流会を開催する。
学校読み聞かせボランティア 勉強会	年間	小・中学校での読み聞かせのボランティア活動を 援助・育成するための勉強会を開催する。
児童向けイベントの開催	4半期毎	季節に即した参加型のイベントを行う。
託児サービス(育児コンシエ ルジュ含む)	月3回	保育資格を持つ「育児コンシェルジュ」が保護者 の方の図書館利用中にお子様をお預かりする。
推薦図書リストの発行	7月	市内の小・中学生に向け、夏休みの推薦図書を学 校と連携し発行する。
児童図書展示会	未定	市内の小・中学校の学校図書館用の資料を選定す るとともに、児童書の普及に努める。
ブックスタート	年間	親しむきっかけづくりと本を通じた親子のコミ ュニケーションの形成を図る。
子ども向けおはなし会等	年間	幼児向けおはなしと本の紹介をする。
福祉施設等訪問	年間	図書館ボランティアとともに、鶴ヶ島ケアホーム を訪問し、読み聞かせ等を行う。

## 8 図書館協議会

### (1) 条例（鶴ヶ島市立図書館条例から抜粋）

（図書館協議会）

第12条 地方自治の本旨に基づき市民の参画と協働による図書館の運営を目指すため、法第14条の規定により、図書館に鶴ヶ島市立図書館協議会（以下「協議会」という。）を置くことができる。

2 協議会の委員（以下「委員」という。）の定数は10人以内とし、任期は2年間とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

3 委員は、次に掲げる者の中から教育委員会が任命する。

(1) 学校教育及び社会教育の関係者並びに家庭教育の向上に資する活動を行う者

(2) 学識経験のある者

4 前項第2号に規定する者について、教育委員会は必要に応じて公募をすることができる。

### (2) 規則（鶴ヶ島市立図書館規則から抜粋）

（協議会）

第31条 教育委員会は、市内の学校教育に関する団体、社会教育関係団体（社会教育法（昭和24年法律第207号）第10条に規定する社会教育関係団体をいう。）又は家庭教育の向上に資する活動を行う団体から選挙その他の方法により推薦された者を、条例第12条第3項第1号に規定する者として、鶴ヶ島市立図書館協議会（以下「協議会」という。）の委員に任命することができる。

（協議会の会長等）

第32条 協議会に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

（協議会の会議）

第33条 協議会の会議は、会長が招集し、会長が会議の議長となる。

2 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

（協議会の庶務）

第34条 協議会の庶務は、図書館を主管する課において処理する。

## (3) 図書館協議会委員名簿

(令和4年6月1日現在)

区分	氏名	役職	備考
1号委員	松田 仁		校長会
	渡辺 裕喜子		教育研究会図書館研究部会
	船木 尚也		教育研究会図書館研究部会
	佐藤 桂子		学校読み聞かせボランティア
	松本 裕美		子ども育成会連絡協議会
	平田 由紀子		ペーパーバック
	千葉 敦子		おはなしぴっころ
	岩谷 文洋	副会長	図書館まつり実行委員長
	牧野 絵里香		菜の花保育園園長
2号委員	関 俊暢	会長	城西大学水田記念図書館長 城西大学薬学部教授
	松村 教二		公募

任期：令和2年10月1日～令和4年9月30日

## (4) 図書館協議会の動き

年月	図書館協議会の動き
平成 8年10月	・鶴ヶ島市立図書館協議会の設置
平成 9年11月	・「開館日、開館時間について」諮問
平成10年 9月	・「開館日、開館時間について」答申
平成11年 3月	・「鶴ヶ島市立図書館の在り方—分室の機能と規模について—」諮問
平成12年 2月	・「鶴ヶ島市立図書館の在り方—分室の機能と規模について—」中間答申
平成12年 9月	・「鶴ヶ島市立図書館の在り方—分室の機能と規模について—」答申
平成14年 6月	・「図書館及び学校図書館とボランティアについて」諮問
平成15年 9月	・「図書館及び学校図書館とボランティア」について中間答申
平成16年 9月	・「図書館及び学校図書館とボランティア」について最終答申
平成20年11月	・「鶴ヶ島市立図書館の運営のあり方について」諮問
平成22年 3月	・「鶴ヶ島市立図書館の運営のあり方について」答申
平成24年 3月	・「鶴ヶ島市子ども読書活動推進計画」審議
平成27年 3月	・「鶴ヶ島市立図書館基本構想」意見聴取
令和 2年 3月	・「市民を支え、活力あるまちづくりに寄与する図書館のあり方について—地域に役立つ図書館として—」提言書策定
令和 3年 2月	・「第2期鶴ヶ島市立図書館基本構想」意見聴取

令和 4年 2月

・「第4次鶴ヶ島市子ども読書活動推進計画（案）について」意見聴取

## 9 図書館の歩み

市民の動き	年 月	図書館の動き
	昭和41年 4月	・ 鶴ヶ島町制施行
	11月	・ 新築鶴ヶ島公民館の2階一部が図書館となる ・ 図書館設置条例及び鶴ヶ島町立図書館設置条例施行規則も公布
・ “子どもの本の講座” 終了後、参加者が中心となり、子どもの本を考える会[たんぼぼ]が誕生	昭和46年 3月	・ 図書館業務開始
	昭和48年 1月	・ “子どもの本の講座” を始める
・ 「たんぼぼ」「青空文庫」に協力	4月	・ 団体貸出を始める（下新田中台団地の家庭文庫）
	昭和50年 5月	・ 鶴ヶ丘どんぐり公園において移動文庫「青空文庫」始める
・ 610名の署名を持ち、町長に分室設置の交渉をする	7月	
	12月	・ 「青空文庫」が、鶴ヶ島第二小学校のプレハブ教室（PTA 図書室）に移る。
	昭和52年 4月	・ 図書館、教育委員会、小・中学校図書室担当者による鶴ヶ島町図書館連絡協議会を設置 ・ “みなさんにおすすめしたい本100冊” の編集を始める
・ 読書グループ「たんぼぼ」として、どんぐり公園内の分室の貸出、読書会等のボランティアをする	7月	・ 鶴ヶ丘どんぐり公園に図書館分室が完成、図書の貸出を始める（週2回）
・ 「にじの会」町公民館で読み聞かせを始める	昭和56年 4月	
・ 「たんぼぼ」では、図書館主催の行事に参加したり、人形劇を主催する。また、図書館分室で読み聞かせを始める。	昭和57年 1月	
・ 東公民館で活動していた読書サークルが「すみれ文庫」（のちに「すみれグループ」となる）として活動を始める	昭和58年 6月	
	昭和59年 3月	・ 総合計画に“社会教育の条件整備(図書館活動の充実)”を盛り込む
・ 町内の読書サークルと文庫の「読書会連絡会」が発足	4月	
・ 「ふじみ文庫」富士見自治会の公民館内で貸出を始める	5月	・ 「としょかんだより」第1号発行
	7月	・ “夏休み理科教室” を始める
・ それぞれのサークルが右記の集會に参加	11月	・ “入間地区の社会教育を考えるつどい”「くらしの中に生きる図書館」を討議
・ 西公民館内に「ひまわり文庫」開設。貸出と読み聞かせをはじめ	昭和60年 2月	・ 鶴ヶ島町立図書館条例改正
	4月	・ 鶴ヶ島町立図書館を鶴ヶ島町立中央図書館に改称 ・ 図書館分室が南公民館新築に伴い移転し鶴ヶ島町立図書館南分室となる（絵本の主題別配架始める）
・ それぞれのサークルが右記の集會に実行委員として参加	10月	・ “鶴ヶ島町制施行20周年記念、第1回鶴ヶ島町図書館まつり”を開催（中心館：南公民館）

市民の動き	年 月	図書館の動き
<ul style="list-style-type: none"> <li>“第1回鶴ヶ島の社会教育を考えるつどい”で「図書館を考える会」設立を確認</li> </ul>	12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>“第1回鶴ヶ島の社会教育を考えるつどい”開催（第2分科会で「くらしの中の図書館」を討議</li> <li>図書館南分室の第1・3日曜日の午後も貸出を始める</li> <li>“文学講座”始める</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>“鶴ヶ島の図書館を考える会”（以下“考える会”という）設立総会</li> <li>“鶴ヶ島の図書館を考える会ニュース”第1号発行</li> <li>“図書館員と語る会”を開催</li> </ul>	昭和61年 5月	
	6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央図書館、新築の北公民館に移転</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>各サークル“図書館まつり”の実行委員会に参加</li> <li>“町長と教育長と語る会”を開催</li> <li>住民及び住民運動団体、右記の集会に参加</li> </ul>	10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>“第2回鶴ヶ島町立図書館まつり”開催（中心館：北公民館）</li> </ul>
	11月	
	昭和62年 2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>“第2回鶴ヶ島の社会教育を考えるつどい”開催（第2分科会で「くらしの中の図書館」を討議</li> </ul>
	3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>『鶴ヶ島の図書館計画1987-図書館サービス網と中央図書館建設の計画』作成</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>「すみれグループ」解散。今までの読書会を「あじさい読書会」として続ける</li> <li>第2回“考える会”開催</li> <li>「ふじみ文庫」閉庫。その後、子供の本を楽しむ会「ポッポ」として富士見分室で読み聞かせをする</li> <li>「おはなしのへや」東分室にて読み聞かせの活動を始める</li> <li>“考える会”要望書提出</li> <li>川鶴地区で「麦っ子ぶんこ」活動を始める</li> <li>“図書館員と語る会”を開催</li> </ul>	4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>東公民館内に東分室開設</li> </ul>
	5月	
	6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央図書館、新築の富士見公民館に移転</li> </ul>
	7月	
	8月	
	9月	
	10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>“第3回鶴ヶ島町立図書館まつり”開催（中心館：富士見公民館）</li> </ul>
	11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>「図書館計画PRリーフレットNo.1」（図書館概要パンフレット）作成</li> <li>“図書館を知る講座”開催</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>住民及び住民運動団体、右記の集会に参加</li> <li>“考える会”、“町長、教育長と語る会”開催</li> </ul>	昭和63年 1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>“第1回鶴ヶ島町の子どもを考えるつどい”開催</li> </ul>
	2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>“第3回鶴ヶ島の社会教育を考えるつどい”開催（第2分科会で「くらしの中の図書館」を討議</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>“図書館員を困む会”開催</li> <li>第3回“考える会”総会</li> <li>“図書館員と語る会”を開催</li> <li>“考える会”が町長、教育長、図書館長に要望書提出</li> </ul>	4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>鶴ヶ島町中央図書館建設委員会条例施行</li> <li>建設委員会委員10名委嘱</li> </ul>
	5月	
	6月	
	7月	
	10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書資料にバーコードを貼付する</li> <li>“第2回鶴ヶ島町の子どもを考えるつどい”開催</li> <li>“第4回鶴ヶ島町立図書館まつり”開催（中心館：東公民館）</li> </ul>

市民の動き	年 月	図書館の動き
<ul style="list-style-type: none"> <li>第4回“考える会”総会</li> <li>「要望書を持って町長と話そう」を開催</li> <li>「図書館長と語る会」を開催</li> <li>“考える会”「鶴ヶ島の図書館についてのアンケート」調査実施</li> <li>「図書館長に聞く」を開催</li> <li>町長、教育長に建設委員会存続の請願署名（3, 167名）を渡す</li> <li>「ひまわり文庫」“図書館分室設置と専門職配置”の要望書提出</li> <li>第5回“考える会”総会</li> <li>“考える会”「中央図書館建設・委員会再開等の要望書」提出</li> </ul>	平成 元年 2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>“第4回鶴ヶ島の社会教育を考えるつどい”開催（第2分科会で「くらしの中の図書館～建設委員と話そう～」を討議</li> </ul>
	4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設委員会委員5名を委嘱</li> </ul>
	5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設委員会「第1回報告書 くらしの中に生きる図書館～鶴ヶ島中央図書館のめざすもの～」を教育長に提出</li> </ul>
	6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館開館時間の延長（午前10時～午後6時）</li> <li>「第1回報告書 くらしの中に生きる図書館～鶴ヶ島中央図書館のめざすもの～」発行</li> </ul>
	7月	
	10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>“第5回鶴ヶ島町立図書館まつり”開催（中心館：南公民館）</li> </ul>
	11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>“第3回鶴ヶ島町の子どもを考えるつどい”開催</li> </ul>
	12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設委員会『第2回報告書 くらしの中に生きる図書館～中央図書館の機能、位置、規模～』を教育長に提出</li> </ul>
	平成 2年 1月	
	3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設委員会『第2回報告書 くらしの中に生きる図書館～中央図書館の機能、位置、規模～』発行</li> <li>鶴ヶ島町中央図書館建設委員会凍結</li> </ul>
	5月	
	7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館開館日の一部変更（富士見・北分室の開館日増）</li> </ul>
9月		
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>“第6回鶴ヶ島町立図書館まつり”開催（中心館：富士見公民館）</li> </ul>	
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>“第4回鶴ヶ島町の子どもを考えるつどい”開催</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>「麦っ子ぶんこ」“大橋分室に関する要望書”提出</li> <li>「麦っ子ぶんこ」閉庫</li> <li>第6回“考える会”総会</li> <li>“考える会”「中央図書館建設に関する要望書」を町長、教育長に提出</li> <li>“考える会”中央図書館建設委員会存続を訴えて請願書と2, 257名の署名を町議会議長に提出</li> <li>おはなしボランティア「おはなしかい ひつじ」（北分室）発足</li> </ul>	平成 3年 2月	
	4月	
	5月	
	7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館開館日の一部変更</li> <li>新築の大橋公民館に大橋分室が開館し、図書の貸出を始める</li> </ul>
	8月	
	9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>市制施行</li> <li>中央図書館建設委員会条例廃止</li> </ul>
	10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>“第7回鶴ヶ島町立図書館まつり”開催（中心館：大橋公民館）</li> </ul>

市民の動き	年 月	図書館の動き
<ul style="list-style-type: none"> <li>第7回“考える会”総会</li> <li>“考える会”が要望書提出</li> </ul>	平成 4年 5月 7月 10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館開館日の一部変更（大橋分室開館日増）</li> <li>“第8回鶴ヶ島市立図書館まつり”開催（中心館：南公民館）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>“考える会”が「中央図書館建設計画の策定に関する要望書」を提出</li> <li>第8回“考える会”総会</li> </ul>	平成 5年 1月 5月 6月 10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館開館日の全面変更（土曜日全館開館、開館時間午前10時～午後4時半に短縮）、貸出冊数を3冊から5冊に増加する。</li> <li>鶴ヶ島市立中央図書館及び（仮称）鶴ヶ島市立市民文化ホール建設基本構想策定</li> <li>“絵本講座”始める</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>市民懇談会委員意見書（第1回）教育長に提出</li> </ul>	平成 6年 1月 3月 4月 7月 8月 9月 平成 7年 3月 5月 8月 9月 12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>鶴ヶ島市立中央図書館建設基本構想及び（仮称）鶴ヶ島市立市民文化ホールの見直しに伴う基本方針を策定</li> <li>鶴ヶ島市立中央図書館実施設計</li> <li>鶴ヶ島市立中央図書館開設準備室設置</li> <li>鶴ヶ島市立中央図書館用地取得</li> <li>鶴ヶ島市図書館市民懇談会委員委嘱（24名）</li> <li>鶴ヶ島市立中央図書館建設工事着工</li> <li>中央図書館建設工事現場フェンスペイント事業実施</li> <li>追加用地取得、外構工事着工</li> <li>中央図書館電算化に伴い図書マーク決定</li> <li>鶴ヶ島市立図書館コンピュータシステム導入委員会設置</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>市民懇談会委員、アンケート作業に協力</li> <li>市民懇談会委員意見書（第2回）教育長に提出</li> <li>市民懇談会委員意見書（第3回）教育長に提出</li> </ul>	平成 8年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 9月 10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内学校等に図書館利用に関するアンケート実施</li> <li>コンピュータシステム決定</li> <li>中央図書館建設工事竣工</li> <li>鶴ヶ島市立中央図書館開設準備室廃止</li> <li>中央図書館開館準備開始（中央図書館事務統合）</li> <li>鶴ヶ島市立中央図書館開館記念行事、第9回図書館まつり実行委員会発足</li> <li>コンピュータシステム稼動（分室オンライン化）</li> <li>分室開館時間延長（午後5時まで）</li> <li>鶴ヶ島市立図書館設置条例及び鶴ヶ島市立図書館運営規則全部改正</li> <li>西分室開館記念行事実行委員会発足</li> <li>図書館利用者1万人作戦実施</li> <li>鶴ヶ島市立図書館西分室開館</li> <li>鶴ヶ島市立中央図書館開館</li> <li>中央図書館開館記念行事、第9回図書館まつり開催（本のリサイクル市を初開催、以後図書館まつり時等に開催）</li> <li>貸出冊数増加（5冊から10冊へ）</li> <li>鶴ヶ島市立図書館条例及び鶴ヶ島市立図書館規則施行</li> <li>鶴ヶ島市立図書館協議会の設置</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>「ひまわり文庫」閉庫</li> <li>「鶴ヶ島本の森を育てよう会」発足</li> </ul>		



市民の動き	年 月	図書館の動き
・ 市民懇談会委員要望書を提出	11月	
・ おはなしボランティア「おはなしの森」(中央図書館) 発足	平成 9年 4月	・ 図書館開館日一部変更(西分室 日曜日開館)
	7月	・ 川越都市圏内公立図書館相互利用開始
	10月	・ 第10回図書館まつり開催
	11月	・ 図書館協議会へ諮問(開館日、開館時間について)
	平成10年 3月	・ 図書等貸出数100万冊(点)を超える
・ 「市民と図書館員の集い第11回埼玉集会」 鶴ヶ島市立中央図書館で開催	5月	
	7月	・ 図書館開館日一部変更(南分室 金曜日開館)
	9月	・ 図書館協議会から答申(開館日、開館時間について)
	10月	・ 中央図書館入館者数50万人を超える
		・ 第11回図書館まつり開催
	平成11年 1月	・ 鶴ヶ島市西公民館等整備検討委員会設置(西分室併設)
	2月	・ 鶴ヶ島市東公民館施設改善検討委員会設置(東分室設置)
		・ 図書館長を全国公募
・ 「学校図書館を考えるさいたまネットワーク第2回研修会」を中央図書館で開催	3月	・ 障害者サービス開始
		・ 図書館協議会へ諮問(鶴ヶ島市立図書館の在り方一分室機能と規模について一)
	10月	・ 第12回図書館まつり開催
	平成12年 2月	・ 図書館協議会から中間答申(鶴ヶ島市立図書館の在り方一分室機能と規模について一)
		・ ケアホーム訪問(読み聞かせ、歌など)開始
	3月	・ 鶴ヶ島市西公民館等整備基本構想策定(西分室併設)
・ 朗読ボランティア「姫りんご」発足	6月	・ 中央図書館入館者数100万人を超える
		・ 学校図書館との連携開始(モデル校: 鶴ヶ島第二小学校)
	9月	・ 図書館協議会から答申(鶴ヶ島市立図書館の在り方一分室機能と規模について一)
	11月	・ 第13回図書館まつり開催
・ 「中央図書館に喫茶室をつくる会」 要望書提出	平成13年 4月	
・ 「鶴ヶ島・図書館利用者の会」 発足		
・ 布絵本サークル「ロンロン」 発足	10月	・ 図書館コンピュータシステムの更新
・ 文学サークル「青葉の会」 発足		・ 第14回図書館まつり開催
・ 紙芝居ボランティア「かみしばいの会」 中央図書館で活動開始	11月	・ 開館日の増加(土日と重なる祝日の開館)
	平成14年 4月	・ ブックスタート開始
		・ 学校図書館との連携強化(モデル校: 藤小学校)
	5月	・ 赤ちゃんおはなし会開始
	6月	・ 図書館協議会へ諮問(「図書館及び学校図書館とボランティア」について)
	9月	・ 布絵本の貸出開始
	11月	・ 第15回図書館まつり開催
	12月	・ つるがしま郷学の森内西分室開館
	平成15年 1月	・ 中央図書館入館者数200万人を超える
	4月	・ 学校図書館との連携強化(モデル校: 鶴ヶ島第一小学校)
		・ 「子どもの読書活動優秀実践図書館」 文部科学大臣賞の受賞

市民の動き	年 月	図書館の動き
・ 児童文学サークル「スター★ガール」発足	7月	・ ビジネス支援コーナーの設置
	9月	・ ろんちゃんクラブ開始（小学生向けに本を使った工作、ゲーム、おはなし会等）
・ 「鶴ヶ島・本の森友の会」発足 （「本の森を育てよう会」と「図書館利用者の会」等の統合）	10月	・ 図書館協議会から中間答申（「図書館及び学校図書館とボランティア」について）
	11月	・ 第16回図書館まつり開催
・ 原書で読む「ペーパーバック」発足	平成16年 3月	・ DVD資料の貸出開始
・ 語りのサークル「ぴっころ」（中央図書館）発足	10月	・ 第17回図書館まつり開催
・ 布絵本サークル「ロンワールド」発足	12月	・ 「図書館だより」1000号発行
・ おはなしボランティア「ポケット」（東分室） 発足	平成17年 4月	・ 開館時間30分拡大 → 開館時間9:30~18:00
	7月	・ 「図書館ボランティア」公募開始
	10月	・ 市役所（IT推進室）一括管理による光ケーブルへ移行
・ 語りのサークル「ぴっころ」が中央図書館で「おはなしの小箱」としておはなし会の活動開始	平成18年 4月	・ 市民活動推進センターでの図書資料等の受取、返却業務開始
	9月	・ 第18回図書館まつり開催
	10月	・ 中央図書館の開館日の増加（月曜日以外の平日の国民の休日開館）
・ 素ばなしの会開始（隔月最終土曜日）	平成19年 3月	・ 広域利用者への利用サービス拡大（学習室、キャレルデスク）
	9月	・ 電話による予約・リクエストの受付開始
	10月	・ 予約・リクエストの取置き期間を1週間に短縮
・ 第20回図書館まつり開催	平成20年 4月	・ 第19回図書館まつり開催
	11月	・ 図書館コンピュータシステム（ハードウェア）の更新
	平成21年 1月	・ 城西大学と相互利用開始
・ 女性センター図書館との連携開始 （中央・南・西で貸出、返却。センターの本を各図書館へ返却）	平成20年 4月	・ 第20回図書館まつり開催
	11月	・ 分室の開館日の増加（月曜日以外の平日の国民の休日開館）
	平成21年 1月	・ 第21回図書館まつり開催
・ キャレルデスクにパソコン専用席を設置	平成22年 4月	・ 広域利用者への利用サービス拡大（AV資料の館内視聴）
	10月	・ 第22回図書館まつり開催
	平成22年 4月	・ 中央図書館の開館日の増加（月曜日と重なる国民の休日の開館）
・ AV資料の広域貸出（DVD除く）を開始	10月	・ 第23回図書館まつり開催
	11月	・ 参考資料室にインターネット閲覧用パソコン2台

市民の動き	年 月	図書館の動き
		を設置
	平成23年10月	・ 無線LANのアクセスポイントを設置
	12月	・ 第24回図書館まつり開催
	平成24年10月	・ 中央図書館の12月28日の特別開館を試行
	平成25年1月	・ 第25回図書館まつり開催
		・ AV資料貸出点数変更2点→3点
		・ 予約・回送点数の制限開始→10点
		・ 長期未返却、弁償未済利用者への貸出制限の開始
		・ OPAC、WebOPACから雑誌の予約開始
		・ 連続巻の予約・回送点数の制限開始→5点
		・ WebOPACからのAV資料の予約開始(市内のみ)
・ 紙芝居ボランティア「ピクチャー・カード」(中央図書館)発足	平成25年4月	・ フロント業務等の委託を実施
		・ 6分室の日曜日開館を実施
		・ ブックスタートでお薦め本2冊を配布開始
	9月	・ 第26回図書館まつり開催
	平成26年1月	・ 中央図書館であかちゃんタイムを実施
・ わらべうたのサークル「わらべうたの会」(中央図書館)発足	4月	
	5月	・ 小学校での「読書へのアニメーション」の取り組み開始
	7月	
・ おはなし勉強会「わたげ塾」(中央図書館)発足	9月	・ 第27回図書館まつり開催
	12月	・ ホームページリニューアル
・ おはなし勉強会「わたげの会」発足	平成27年4月	・ 鶴ヶ島ラノバクエスト開催
・ おはなし勉強会「おはなしたんぽぽ」発足		
	6月	・ 布絵本の広域貸出開始
	9月	・ 第28回図書館まつり開催
・ 「鶴ヶ島・本の森友の会」解散	平成28年3月	
	4月	・ 指定管理者制度の導入
		・ 西分室の開館日拡大 火曜日～日曜日開館
		・ 商業施設「ワカバウォーク」の市民活動推進センター内に、図書の貸出・返却・利用者登録などのサービスを行う「若葉駅前カウンター」を設置
		・ 開館時間拡大 中央館 午前9時～午後7時 分室 午前9時～午後5時 若葉駅前カウンター 午前9時～午後9時
		・ 中央館の月末整理休館日を廃止
		・ 図書館システムサーバをクラウドサーバに移行
		・ 市役所庁舎にブックポストを設置
		・ 書籍消毒機「ハッピークリーン」導入
		・ AVコーナー視聴覚ブースを改修し、ICTコーナーとして運用開始
		・ 館内利用のタブレット端末のサービス開始 (「デジタルえほん」、「ナクソスミュージックライブラリー」、「TOOL-iS」、DVD視聴、インターネット利用)
		・ AV資料(DVD)の広域貸出開始
	6月	・ 座席管理システム導入
		・ タブレット端末でオンラインデータベース「ジャ

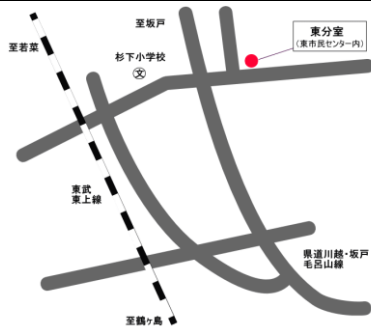
市民の動き	年 月	図書館の動き
		パンナレッジ」、「日経テレコン 21」の利用サービス開始
	9月	・ 第29回図書館まつり開催
	11月	・ 第1回障がい者アート絵画展開催
平成29年	6月	・ 図書館施設利用料金変更
	8月	・ 図書館ホームページバージョンアップ
		・ 資料予約方法がカート式に変更
		・ 検索した本の表紙の画像を表示
		・ スマートフォン専用の検索ページ開設
		・ セット予約機能の追加
		・ 資料の貸出延長機能の追加
	9月	・ 国立国会図書館デジタル化資料送信サービス開始
		・ オンラインデータベース「DI-Law」の利用サービス開始
		・ 鶴ヶ島ラノベクエスト開催
		・ 第30回図書館まつり開催
	11月	・ 第2回障がい者アート絵画展開催
平成30年	4月	・ 鶴ヶ島ラノベクエスト開催
	9月	・ 第31回図書館まつり開催
	12月	・ 第3回障がい者アート絵画展開催
令和元年	4月	・ 鶴ヶ島ラノベクエスト開催
	10月	・ 第32回図書館まつり開催
	12月	・ 第4回障がい者アート絵画展開催
令和2年	3月	・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館
	4月	・ 開館時間を短縮して一部サービス再開も緊急事態宣言の発令に伴い再度臨時休館
	5月	・ 一部サービス再開（予約資料受取のみ）
	6月	・ サービス拡大（館内立入り可。滞在30分以内）
	8月	・ サービス拡大 （開館時間が通常に戻る。席数削減の上、座席利用可。一部イベント再開。滞在180分以内）
		・ デジタル郷土資料サービス開始
	10月	・ 電子図書館サービス開始
		・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため第33回図書館まつり中止
	12月	・ 第5回障がい者アート絵画展開催
		・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のためサービス縮小（学習室および ICT コーナー、参考資料室の利用中止、短時間での利用のお願い）
令和3年	1月	・ 緊急事態宣言の発令に伴いサービス縮小（全席使用停止。イベント中止。若葉駅前カウンターのみ開館時間1時間短縮）
	2月	・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため鶴ヶ島ラノベクエスト中止
	3月	・ 図書館システム変更に伴い臨時休館
	4月	・ 第2期鶴ヶ島市立図書館基本構想の策定

市民の動き	年 月	図書館の動き
	5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>「書籍除菌機」を中央館、若葉駅前カウンターに設置（中央館は追加設置）</li> </ul>
	7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置区域の指定に伴い臨時休館</li> </ul>
	8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置区域の指定に伴い各イベント中止</li> </ul>
	9月	
	12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染拡大防止のため第33回図書館まつり中止</li> </ul>
	令和4年 3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>つながるアート展開催（旧：障がい者アート絵画展）</li> </ul>
	令和4年 3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービス拡大（滞在時間：制限なし、若葉駅前カウンター閉館時間1時間短縮の撤廃）</li> </ul>



鶴ヶ島市高倉 1247 番地 1  
TEL 049-271-3001

開館日・開館時間  
火曜日～日曜日  
午前 9 時～午後 7 時



(東市民センター内)  
鶴ヶ島市五味ヶ谷 202 番地  
TEL 049-271-4655  
開館日・開館時間  
水・金・土・日曜日  
午前 9 時～午後 5 時



(西市民センター内)  
鶴ヶ島市新町四丁目 17 番地 8  
TEL 049-287-0880  
開館日・開館時間  
水・木・土・日曜日  
午前 9 時～午後 5 時



(南市民センター内)  
鶴ヶ島市鶴ヶ丘 375 番地 1  
TEL 049-287-6044  
開館日・開館時間  
水・金・土・日曜日  
午前 9 時～午後 5 時



(北市民センター内)  
鶴ヶ島市脚折 2171 番地 1  
TEL 049-285-5780  
開館日・開館時間  
火・金・土・日曜日  
午前 9 時～午後 5 時



(富士見市民センター内)  
鶴ヶ島市富士見五丁目 11 番 1 号  
TEL 049-287-1662  
開館日・開館時間  
火・木・土・日曜日  
午前 9 時～午後 5 時



(大橋市民センター内)  
鶴ヶ島市太田ヶ谷 883 番地  
TEL 049-286-0006  
開館日・開館時間  
火・木・土・日曜日  
午前 9 時～午後 5 時